

資料に親しむ会 令和4年度第4回

「大蔵経に親しむ 第2話～近代以降の大蔵経～」

京都府立京都学・歴彩館職員が「大蔵経に親しむ 第2話～近代以降の大蔵経～」を、下記のとおり開催しました。

記

■ 日 時 令和4年7月12日（火）午後2時～3時

■ 場 所 京都府立京都学・歴彩館1階 小ホール

■ 参加者数 40名

■ 内 容 第1話（仏典の成立から江戸時代の大蔵経まで）に続き、近代以降の大蔵経出版事業について、当館の所蔵資料を中心に解説した。近年はインターネットで大蔵経のデジタル画像が公開されており、代表的なデータベースも紹介した。

■ 参加いただいた方々のご意見（参加者アンケートより）

- ・ 仏教国日本における大蔵経の流れを知ることが出来た。
- ・ 釈迦の説いた内容やデジタルアーカイブ検索まで説明していただけて、大満足して帰ります。
- ・ データベース、使ってみます！！仏教、基本的知識、分かりました。
- ・ 第1話の内容と合わせて理解が深まった。p.35の記述（※）に感銘を受けた。
※発表者注：江戸時代までの日本は、印刷された大蔵経については、（鉄眼の黄檗版以外は）ほぼ中国や朝鮮半島からの輸入に頼っていたが、近代になって日本で刊行された大蔵経が中国で再版されるまでになったこと。

（講座の様子）

